

# 「今野賞」受賞者（平成3年度～平成7年度）

回（受賞年度）	種	氏名	所属（受賞時）	主 題 等	回（受賞年度）	種	氏名	所属（受賞時）	主 題 等
第1回(平成3年)	B	藤原秀晃	仙台市立鶴谷東小学校 (宮城県立光明養護学校)	中度精神薄弱児K子に対する文字指導の一試み -名前パズルでの活動を中心に-	第3回(平成5年)	B	伊東福子	宮城県立ろう学校小牛田校 (遠田郡田尻町立沼郷小学校)	構音と運動に問題を持つLD児の指導
第1回(平成3年)	B	菅原 弘	仙台市立高森小学校 (仙台市立木町通小学校)	自閉的傾向のある精神発達遅滞児U・M男の要求語を引き出す指導の一試み -スマートボールゲームを使った指導を通して-	第3回(平成5年)	B	水谷勝則	仙台市立将監東中学校 (宮城県立光明養護学校)	重度重複児T・Hの描画指導についての一試み -粘土遊びから“ひと”を描くまで-
第2回(平成4年)	B	菊地和則	仙台市立南材木町小学校 (仙台市立木町通小学校)	難聴児K子に実際の生活場面でことばを活かし自信をつけさせる指導の試み -買い物・調理活動の成功経験を積み重ねながら-	第3回(平成5年)	A	宮城県特殊教育研究会		40年にわたる研究会の活動実績に対して
第2回(平成4年)	B	小野寺東史	泉岳少年自然の家 (仙台市立荒巻小学校)	自閉児H児のプール指導の一試み -自作教具を使った指導を通して-	第3回(平成5年)	C	代表 佐藤 貢	仙台市立荒町小学校 (仙台市立西多賀小学校)	能力差に応じた国語の指導に関する一研究 -読み取り、聞き取り指導における段階指導プログラムの作成と教材開発を通して-
第2回(平成4年)	B	岩崎和泉	古川市立古川第一小学校 (多賀城市立山王小学校)	軽度精神発達遅滞児の「数と計算」指導の一試み -すごろく遊び・買い物ごっこを通して-	第4回(平成6年)	B	庄子博之	宮城教育大学附属養護学校 (宮城県立光明養護学校)	重度精神薄弱児H男の概念行動の基礎的な能力を高める指導の一試み -宝探しの指導を通して-
第2回(平成4年)	A	明和学園 いずみ養護学校		30年にわたる精神薄弱児（女子）の後期中等教育の実績に対して	第4回(平成6年)	B	高橋克己	名取市立館腰小学校 (名取市立増田小学校)	多動なY子と担任とのかかわりを高める指導の一試み -お出かけお知らせ板とワープロの活用を通して-
第2回(平成4年)	C	代表 大塚美智子	仙台市立古城小学校 (仙台市立中田小学校仙小研)	小・中学校精神薄弱・情緒障害特殊学級における診断的評価の作成 -社会的自立に至るまでのすじみちを求めながら-	第5回(平成7年)	B	相澤雅文	宮城教育大学附属養護学校 (同 上)	知的障害と肢体不自由を併せ持つA子の歩く意欲を高めるための一試み
第2回(平成4年)	C	代表 菅原光昭	宮城県立金成養護学校 (宮城県立古川養護学校訪問部)	重度・重複障害児の感覚・運動機能を高める指導の一研究 -訪問教育対象児童を中心として-	第5回(平成7年)	B	曾根秀樹	仙台市立仙台第一中学校 (同 上)	文章を書くための指導の一試み -コンピュータ機器を利用した主体的な学習活動を通して-

## 「今野賞」受賞者（平成8年度～平成12年度）

回（受賞年度）	額	氏名	所属（受賞時）	主 題 等
第6回（平成8年）	B	齋藤まり子	仙台市立仙台第一中学校 （仙台市立広瀬中学校）	主体性をひき出す校外学習指導 －交通機関の利用指導を中心にして－
第6回（平成8年）	B	早坂和枝	鹿島台町立鹿島台第二小学校 （中新田町立中新田小学校）	日常生活に生きて働く言語を身につけさせるための指導と評価の一試み －「イ列音の片側性構音障害」の指導を通して－
第7回（平成9年）	B	中村好則	宮城県立ろう学校 （ 同 上 ）	ろう学校高等部における数学教育 －「主体的に考える力」を育てる指導の一考察－
第8回（平成10年）	B	相澤悦子	仙台市立台原小学校 （仙台市立将監小学校）	音楽の楽しさを感じ生き生きと表現できる子供をめざした指導の一試み －リズム表現の指導の工夫を通して－
第8回（平成10年）	B	千葉雅弘	宮城県立利府養護学校 （宮城教育大学附属養護学校）	A子の社会参加と生活自立をめざした家庭と学校の連携の一試み
第9回（平成11年）	B	及川吉文	宮城県立ろう学校 （ 同 上 ）	ろう重複障害児のコミュニケーション行動の形成を促す指導について
第9回（平成11年）	B	松田修一	仙台市立鹿野小学校 （ 同 上 ）	知的障害児Aが自ら考え、支払いができるようになるための金銭指導について －指導段階表の作成と教材・教具の工夫及び金銭の操作活動を取り入れた学習場面の工夫を通して－
第10回（平成12年）	B	佐藤功一	宮城教育大学附属養護学校 （宮城県立西多賀養護学校）	病弱養護学校小学部における前籍校に戻る際の不安を解消する自立活動の実践的研究 －「もうすぐ戻るよ／プロジェクト」の活動を通して－
第10回（平成12年）	B	渡部智之	宮城教育大学附属養護学校 （仙台市立南中山中学校）	自閉症児A君の集団の中でスムーズに活動する力を育成するための一試み －積極的な交流学习の中での健常児とのかかわりを通して－

## 「今野賞」受賞者（平成13年度～平成17年度）

年度	部門	氏名	学校名・団体名	題名
13	B	菅原 美樹	宮城県立光明養護学校	ベッドサイド指導対象児K子の視線の動きを引き出す支援の探求 －記録データベース化による日々の記録の分析を通して－
		村田 隆則	仙台市立金剛沢小学校	共に生き、共に学ぶ人間性豊かな児童を育てる指導はどうあればよいか －特殊学級における生活単元学習と通常の学級における総合的な学習の時間を融合させた学習交流を通して－
	C	鈴木久一郎	宮城県立名取養護学校	自閉症児へのTEACCHプログラムのアイデアを取り入れた指導の有効性の検証 －構造化等の指導による自立的な活動、適応機能の向上を目指して－
	D	杉 肇子	仙台市立上杉山通小学校	通常の学級の児童への障害児（者）理解の授業の在り方 －校内研究2年間の総合的な学習の時間（福祉）の取り組みを通して－
14	B	阿部 誠	仙台市立鶴谷養護学校	知的な遅れがある不登校児童への援助の一試み －親子へのサポートの在り方－
15	B	田中由佳子	仙台市立燕沢小学校	LD児と診断されたA児の聴覚認知力を高め「話したい」という意欲を持たせる指導
16	C	川上 淳子	多賀城市立多賀城小学校	聴覚障害児のコミュニケーション能力の育成を目指して －難聴学級での3年間の取り組み－
17	D	山田 幸文 (代表)	柴田町立東船岡小学校	軽度発達障害児への適応支援の在り方を探る －校内支援体制の確立と適切な支援の在り方を求めて－

「今野賞」受賞者（平成18年度～平成22年度）

年度	部門	氏名	学校名・団体名	題名
18	B	佐藤 進	宮城県立古川養護学校	知的障害を伴う自閉症児の特性に応じた指導の一試み ～A君の障害の特性に配慮した「自立活動の指導」内容表の活用を通して～
	D	前谷 晴美 (代表)	仙台市立鹿野小学校	通常学級に在籍する配慮を要する児童への個別支援の一方法 ～できることから始める個別支援体制の在り方を探る～
19	B	早見 和男	宮城県立西多賀養護学校	筋ジストロフィー患者である生徒Aとの3年間 ～3つの長期目標から見た3年間の変容～
	C	阿部小百合	仙台市立燕沢小学校	「20までのたし算」習得に向けての一試み ～知的障害児A児のたし算指導事例を通して～
	C	赤間 知子	仙台市立掛江小学校	金銭を理解し、いきいきと買い物をするために ～生活単元学習と算数科の学習を関連させた2年間の指導～
	D	中條 浄恵 (代表)	色麻町立色麻中学校	通常学級における特別支援を必要とする生徒のニーズに合わせた指導の工夫 ～自閉症傾向の生徒の支援を中心として～
20	B	森 英行	宮城県立養護学校岩沼高等学園	寄宿舎における個別的教育支援計画に基づく生活支援・指導のあり方について ～知的障害がある生徒Aの社会参加・職業的自立に向けた生活指導の実践とその考察を通して～
	B	西村 茂貴	仙台市立長町小学校	Aさんの書字の力を伸ばすための実践的研究 ～NCプログラムを活用した教材・教具の開発を通して～
	B	青山 隼人	宮城県立迫養護学校	知的障害に肢体不自由を併せ有するAさんの自力歩行獲得に向けた指導の一試み ～Aさんが楽しく主体的に取り組める活動を目指して～
	C	貝和 顕彦	富谷町立富ヶ丘小学校	保護者の理解を深める特別支援教育支援体制の一試み ～A君の5年間の就学支援の歩みを通して～
	C	大坂 聡	七ヶ浜町立向洋中学校	「肢体不自由児A男の体位変換及びトランスファー能力を高める指導の一試み」 ～自作トレーニング機器「クルル君」の活用を通して～

年度	部門	氏名	学校名・団体名・職名	主 題
21	B	大友さか子	宮城教育大学附属特別支援学校 教諭	Aさんの集団での学習活動への参加を促す実践的研究 ～ABC（応用行動分析）を活用した離席を減少させる指導を通して～
		泉 順也	宮城県立船岡支援学校 教諭	将来的に自力でクラッチ歩行による通勤を行うための肢体不自由児に対する指導の一試み
		草苺 有紀	仙台市立大和小学校 教諭	特別支援学級における各教科との関連を図った総合的な学習の時間の一試み ～「喫茶店を開こう」の実践を通して～
	C	大坂 聡	宮城県立角田支援学校 教諭	Aさんの視認性の向上を支援する一試み ～最適視認距離及び可読性の分析を通して～
		櫻井 史朗 (代表者)	宮城県立古川支援学校 教諭	「個に応じた指導」に向けたシステムの構築と活用 ～個別の指導計画の作成・活用・評価場面を通して～
	22	A	遠藤 良博	宮城県立聴覚支援学校 教諭
C		宮城県立光明支援学校高等部 山口裕之（代表者）	宮城県立光明支援学校 教諭	生徒のチャレンジを引き出す授業づくり ～自らの課題にチャレンジして自分を高める生徒を目指して～
		星 直美	宮城教育大学附属特別支援学校 教諭	自閉症を併せもつA君のプランニング実行機能を高めるための実践的研究 ～DN-CASの認知機能分析を活用した指導を通して～
D		伊藤 雅亮	仙台市立袋原小学校 教諭	通常の学級における特別な配慮の必要な児童への支援 ～校内での段階的な支援を通して～

「今野賞」受賞者（平成23年度～平成27年度）

年度	部門	氏名	学校名・団体名	題名
23	A	村上善司 (代表者)	宮城県立光明支援学校	
	B	齋藤春香	柴田町立槻木小学校	Aさんの社会的スキルを伸ばす為の指導の一試み －自立活動における実践を通して－
	B	佐々木健太郎	宮城教育大学附属特別支援学校	特別支援学校在籍生徒に対する大学と連携した余暇支援活動の効果の検証 －“ささけんクラブ”の実践を通して－
	C	齋藤健造	仙台市立鶴谷特別支援学校	重度・重複障害のあるB児のコミュニケーションの支援の在り方
	D	向法子	石巻市立万石浦小学校	発達障害の疑われる保健室登校児が学級に戻るために開発した目標設定カードの有効性と効果
24	A	なし		
	B	吉田典子	宮城県立山元支援学校	自分の思いを伝えるための指導の一試み －表出方法の開発を通して－
	B	鈴木佳子	仙台市立高砂中学校	生徒が学習意欲を高め自分自身で進路選択する力を身につけるための指導の一試み －中学校特別支援学級における体験重視型自分づくり教育を通して－
	C	佐藤奈朋子	宮城県立山元支援学校	重度・重複障がいのあるMさんが教師からの働き掛けを受け止め、それに応じることができるようになるための指導の一試み －音や音楽を取り入れた活動を通して－
	D	小松山弥生	仙台市立大沢小学校	学級集団の中で育つ発達障害のある子どもたちへの指導 －「発達障害児を育てる学級集団」作りを目指した試み－
25	A	なし		
	B	白木澤そのみ	仙台市立六郷中学校	特別支援学級における働く意欲を高める作業学習の一試み －販売活動・仲間と楽しさを共有する活動を通して－
	C	大友浩	宮城県立古川支援学校	感情のコントロールが難しいA君の学習意欲を育み落ち着きながら学習活動に取り組むための一試み －TEACCHプログラムと学ぶ意欲を育むコンピューター教材を生かした「国語・算数」の教科活動を通して－
	D	なし		

年度	部門	氏名	学校名・団体名	題名
26	A	なし		
	B	諏訪 妙子	仙台市立太白小学校	学習意欲と関わる力を高める指導 ー学習環境の調整と教師の声かけの工夫ー
	C	北川 珠美	宮城県立角田支援学校 白石校	知的障害のある児童生徒が、安心して医療機関を受診できるための試み ー健康診断の事前指導や歯科受診教室、通院指導を通してー
	C	小山 淳 菅原 宏行	宮城県立支援学校岩沼 高等学園	軽度知的障害を有する生徒集団におけるICTを活用した生徒指導の試み ー情報モラルといじめ問題に対し、主体的に取り組ませることを目指してー
	C	首藤 雅浩	仙台市立田子中学校	思いや疑問、取り組みたいことを言え、失敗を恐れず意欲を持って取り組もうとする生徒の育成 ー生徒自身が発する言葉と挑戦する気持ちを大切にする作業学習のあり方ー
	D	なし		
27	A	なし		
	B 入賞	川村 修弘	宮城教育大学附属特別 支援学校	LDの可能性のある児童に対する通級指導教室でのKABC-IIを活かした長所活用型の平仮名の読み指導
	C 入賞	佐々木 あき子	仙台市立長町小学校	聴覚に障害のある児童の防災教育について ーきこえの教室での授業実践を通してー
		小笠原 眞理	仙台市立鶴谷特別支援 学校	社会自立につながる教科の授業作り ー特別支援学級における英語の授業を通してー
	D	なし		

27	A		なし		
	B	入	川村修弘	宮城教育大学 附属特別支援学校	LDの可能性のある児童に対する通級指導教室でのKABC-IIを活かした長所活用型の平仮名の読み指導
	C	入	佐々木あき子	仙台市立 長町小学校	聴覚に障害のある児童の防災教育について -きこえの教室での授業実践を通して-
		入	小笠原真理	仙台市立 鶴谷特別支援学校	社会自立につながる教科の授業作り -特別支援学級における英語の授業を通して-
	D		なし		
28	A	該当	永尾勉	仙台市立 八乙女中学校	推薦理由：長年、特別支援教育に携わり、提案授業のほか特別支援教育の理解推進のための研修会の企画運営、実践発表に積極的に取り組んでいる。特別支援教育の振興に幅広く貢献し、その活躍は誠に顕著である。
	B	優	川村修弘	宮城教育大学 附属特別支援学校	<u>知的障害の可能性のある児童に対するKABC-IIを活かした長所活用型平仮名の読み指導</u>
		入	藪田幸平	仙台市立 長町南小学校	主体的に学ぶ児童を育む指導の一試み -教育的ニーズに応じた学びの場の確保と動機付けの工夫を通して-
	C	最優	教育課程委員会 (代表)千葉信博	宮城県立 石巻支援学校	<u>個別の指導計画作成システムの構築と活用による個に応じた指導の充実を目指して</u> -Accessによるデータベース活用をとおして-
		優	大友浩	宮城教育大学 附属特別支援学校	発達遅れの大きい自閉症スペクトラム生徒の障害特性と発達段階に即した社会的学習の実践と考察 -高等部「職業科」のニーズで区分したグループの「学び合い」に焦点を当てた授業作りを通して-
		入	石川尚志	仙台市立 鶴谷特別支援学校	知的障害、視覚障害、肢体不自由を併せ有する生徒が一人で歩行できるようになるための一試み -Aさんとともに歩んだ5年間に学んだ実態把握の方法と教材教具の工夫を通して-
		入	渡邊由美子	仙台市立 富沢中学校	関わり合いながらともに学ぶ -特別支援学級での実践を通して-
		入	長野まみ	仙台市立 柳生中学校	クロハアゲハの誕生秘話「心育む実話からのメッセージ」 -絵本作りを通して、生活単元学習の在り方を考える-
	D	最優	豊田幸二	富谷市立 東向陽台小学校	<u>児童の自立と保護者支援の中心軸となる学校を目指して</u> -「宮城県特別支援教育将来構想」の具現化へ 個に応じた包括的な支援の構造化への一考察-

【賞の欄】 最優：最優秀賞 優：優秀賞 入：入賞